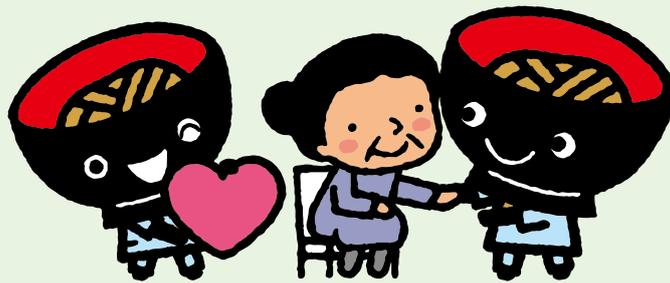


岩手県版

新任訪問看護師育成プログラム

【評価の指標抜粋】

- 訪問看護到達評価表
- 技術チェックリスト
- 書類チェックリスト
- 研修実施項目



氏名

訪問看護到達評価表

大項目	中項目	小項目	評価内容 (自己評価・他者評価)	補 足	評価 基準	0：未経験 1：指導者と共にできる 2：見守りでできる 3：一人でできる											
						評価月	6 か 月		12 か 月								
1. 職業人としての基本的能力	基本姿勢	1	就業上のルールを守ることができる	就業規則を確認し、ルールを守ることができる	自己 指導者												
		2	日々の業務において連絡・報告・相談ができる	訪問場面だけでなく、勤務上の報・連・相ができる	自己 指導者												
		3	看護業務に必要な物品や身支度が整えられる	防寒着や雨具の用意など、気候等に合わせた準備や忘れ物がなく身支度できる	自己 指導者												
		4	目的地周辺の道路事情の把握や安全な移動方法を選択できる	訪問先の住所や地図により事前の道路把握ができる	自己 指導者												
		5	より良い職場環境にするように判断し行動できる	個人の取り組みだけでなく職員との協力により環境改善に努めている	自己 指導者												
		6	日々の健康管理に努めることができる	日頃から規則正しい生活により欠勤遅刻などがないように心掛けている	自己 指導者												
	コミュニケーション	7	事業所内外問わず良好なコミュニケーションを心掛けている	事業所内外問わず他者の話に耳を傾け他人の意見を受け入れる姿勢が取れる	自己 指導者												
		8	チーム内でお互いの声かけなどの配慮ができる	職員個々の価値観の違いや他職種の専門性についても理解ある態度で接することができる	自己 指導者												
		9	利用者、家族との日常会話でも意図的にコミュニケーションをとることができる	日常会話の中からでも看護に必要な情報を収集している	自己 指導者												
		10	相手に合わせたコミュニケーション方法が実践できる	相手の状況（視力、聴力など）に応じてコミュニケーションの方法を変更できる	自己 指導者												
		11	伝わりやすい言葉、声の大きさなどをT.P.O.に合わせて調整することができる	他者の状況に応じた対応ができ、相手の笑顔をひきだすコミュニケーションがとれる	自己 指導者												
	理念・組織体制の周知と実践	12	事業所の理念及び経営方針を理解している	事業所が掲げている理念及び経営方針を理解し他者へ伝えることができる	自己 指導者												
		13	事業所の所管・所属・法人、組織について理解している	事業所の組織体制など上司から説明を受け自分なりの言葉で説明できる	自己 指導者												
		14	事業所内での自身に与えられた役割を理解している	事業所内で自身の立ち位置、役割を認識できる	自己 指導者												
		15	上司や同僚に報告・連絡・相談ができる	T.P.O.を考慮して実施できる	自己 指導者												
		16	事業所の一員として事業所の役割や機能の特色を理解している	事業所が（地域で）期待されている役割、機能について説明できる	自己 指導者												

大項目	中項目	小項目	評価内容 (自己評価・他者評価)	補足	評価基準	0：未経験 1：指導者と共にできる 2：見守りでできる 3：一人でできる							
						評価月 評価者	6 か 月		12 か 月				
1. 職業人としての基本的能力	マナー・接遇	17	服装や身だしなみに清潔感がある	清潔感がある服装について説明することができ、それに見合った身だしなみができているか自身の姿を鏡などで確認している	自己 指導者								
		18	利用者宅へ訪問する基本的マナーができる	玄関ドアの開け方、閉め方、靴の脱ぎ方などの基本的な礼儀作法ができる	自己 指導者								
		19	電話の応対が気持ち良く対応ができる	相手の表情が見えない状況でも、「お待たせいたしました」や「ありがとうございます」など相手にねぎらいの言葉を添えて笑顔で対応できる	自己 指導者								
		20	いかなる場面・相手においても敬う言葉で対応できる	コミュニケーションをとるときには、常に看護師であるという自覚をもって、自己コントロールができる	自己 指導者								
		21	来所者へおもてなしの心で対応し、自らすすんで挨拶ができる	訪問する場面だけでなく事業所へ来所される方へも気持ち良い対応ができる	自己 指導者								
		22	職員や利用者が相談しやすい姿勢で対応することができる	一方的な会話ではなく、相手を受け入れている態度でコミュニケーションがとれる	自己 指導者								
		23	他人を敬う気持ちで常に接することができる	自己の考えで利用者・家族を判断したり価値観を押し付けていない	自己 指導者								
		24	誠意をもって真摯に利用者・家族と向き合うことができる	家族ケアの必要性が理解でき、積極的に家族と関わっている	自己 指導者								
		25	個人の価値観は多様であることを理解できる	利用者の言動を否定するような言葉かけや態度をしていない	自己 指導者								
		2. 在宅における看護過程の展開	情報収集・アセスメント	26	情報提供用紙やサマリーから訪問看護に必要な情報を抽出することができる	利用者に必要な情報を自ら把握できるように収集された情報に目を通している	自己 指導者						
27	認知症高齢者の日常生活自立度を用いてランクが判定できる			認知症高齢者の日常生活自立度のランクが示す状態を理解している	自己 指導者								
28	フィジカルイグザミネーションを用いた身体的アセスメントができる			五感を用いて全身の観察を行い、状態を正しく理解し異常を早期に発見する	自己 指導者								
29	利用者、家族、サービス関係者から必要な情報を収集・記録し、スタッフ間で共有できる			サービス関係者とは利用者に関わる医療介護サービス担当者（医師・ケアマネ・ヘルパー・薬剤師・民生委員・OT・PT・ST・MSWなど）	自己 指導者								
30	病院と在宅の療養環境の違い、生活の場におけるリスクがわかる			利用者の思いや生活を大切にしたい看護提供の理解ができる	自己 指導者								
31	抽出した情報を総合的にアセスメントし、問題点の整理ができる			利用者の心身の状況や生活状況を情報整理しながら問題の明確化が図れ、優先順位が分かる	自己 指導者								
32	利用者・家族の意思を尊重しながら課題解決のための具体的な目標設定ができる			目標は、期日を決めて成果を実感できるよう日常生活における具体的なものとする	自己 指導者								

大項目	中項目	小項目	評価内容 (自己評価・他者評価)	補足	評価基準	0：未経験 1：指導者と共にできる 2：見守りでできる 3：一人でできる							
						評価月 評価者	6 か 月		12 か 月				
2. 在宅における看護過程の展開	看護計画 ↓ 看護実践 ↓ 評価 ↓ 計画修正 ↓ 看護記録作成	33	医師の指示、ケアマネジャーのプランから個別看護計画を作成できる	医師の指示書を確認し、病状の進行を予防する視点で看護計画が立案できる	自己 指導者								
		34	初回情報収集やアセスメント用紙、初回計画の記載ができる	新規訪問に至るまでに必要な記録について理解し、書類作成、準備ができる	自己 指導者								
		35	要支援に対する予防計画の作成や報告書の記載ができる	介護認定に対する制度上の違いが資料を見て説明でき、対応できる	自己 指導者								
		36	看護計画又は看護手順書にプライバシー・羞恥心への配慮を行っている	看護計画や看護手順書に羞恥心に配慮した取り組みを文章化している	自己 指導者								
		37	利用者の生活環境に応じた感染予防をアセスメントし、計画立案・実施している	在宅での感染対策について、病院との違いも踏まえ説明できる	自己 指導者								
		38	利用者宅の生活様式に配慮した準備や後片付けができる	ケアや処置の準備・片付け時に本人や家族に声掛けが行えている。また、利用者宅の生活様式に配慮した準備や後片付けができる	自己 指導者								
		39	利用者・家族が大切にしていること（こだわりや生活習慣など）に配慮したケアを実施している	利用者個人が大切にしていることを把握し配慮できる	自己 指導者								
		40	担当者会議内容、ケアプラン等確認後、アセスメントしケア方法の手順書を作成している	担当者が休みに対応する場合など誰が見てもわかりやすい手順書が記入できる	自己 指導者								
		41	利用者の計画書、手順書を確認し、訪問時の状態から優先順位を考えて看護の提供、記録ができる	教育計画に基づいて指導を行った結果、スキルに応じて再アセスメントを行い、計画の修正・再指導ができる	自己 指導者								
		42	利用者のペースに合わせて看護提供ができる	利用者の意向を確認しケアを行う前の同意を得ている	自己 指導者								
		43	その日の利用者の状態や状況に応じたケアの工夫、看護援助の方法を変更できる	手順書通りに実践できない場合でも利用者の状況に応じてその場でケア手順の修正や看護提供ができる	自己 指導者								
		44	看護計画の立案、評価、修正の一連の流れを理解している	計画の評価・修正時期について理解できている。また、評価されている内容が修正プランに反映できる	自己 指導者								
		45	受け持ちケースの計画更新時には事業所内でカンファレンスの開催を提案できる	計画修正時に利用者の希望も集約し、上司に積極的に意見を求める場を自身でセッティングし、適切に評価、更新している	自己 指導者								
		46	看護サマリーの必要性を理解して記録ができる	看護サマリーの必要性がわかり継続看護の視点で記入、連携の必要性を理解することができる	自己 指導者								
		47	必要時、サービス関係者へ情報共有ができる。担当者会議、退院時カンファレンスに参加し必要な情報収集・提供を行っている	利用者の担当者として各種会議に参加し、訪問看護の視点から利用者の状況を他機関に理解できるよう（専門用語等を用いず）情報提供できる	自己 指導者								

大項目	中項目	小項目	評価内容 (自己評価・他者評価)	補足	評価基準	0：未経験 1：指導者と共にできる 2：見守りでできる 3：一人でできる							
						評価月 評価者	6 か 月	12 か 月					
2. 在宅における看護過程の展開	看護計画 ↓ 看護実践 ↓ 計画修正 ↓ 看護記録作成	48	記録の必要性、目的について理解できる	記録物は第三者にも伝わる書体・内容で記載できる	自己 指導者								
		49	訪問看護師にとって必要な記録の種類について理解している	訪問看護の制度上必要な記録の種類が説明できる	自己 指導者								
		50	日々の看護記録、訪問看護計画書・評価・報告書が適切に記載できる	過不足なく記載できるよう日々努めている	自己 指導者								
		51	実施した看護について振り返り評価し修正している	自己の知識・技術の不足している点、注意すべきケアや手順のポイントが分かる	自己 指導者								
	緩和ケア	52	疾患別に応じた終末期の経過が想定でき、病期ごとに個別性のある看護計画を立案・修正できる	疾患ごとの終末期の進行度がわかり、想定される状態に対応した看護計画が立案できる	自己 指導者								
		53	オピオイド製剤をはじめとした薬物療法の基礎知識を持ち、トータルペインの視点で利用者を理解し、苦痛の緩和を目指して対応できる	医師と連携し効果的にレスキュードーズの使用やオピオイドローテーションが理解でき、且つその投与経路、薬剤効果や副作用を理解できる	自己 指導者								
		54	緊急性の判断ができ、その場で決断できる	利用者からの緊急連絡に対し訪問か電話対応で対処するか、判断することができる	自己 指導者								
		55	救急車の要請するケースの判断がきちんとでき、利用者、家族などへ受診方法について具体的な指示が出せる	救急搬送は利用者の状態に応じて救急車と介護タクシーなどを選択できる	自己 指導者								
		56	精神的苦痛やスピリチュアルペインに対し、寄り添うことができる	苦痛に応じた緩和ケアを行うことができる。または、指導者に相談し実施できている代替療法の知識を持ち、精神面へのサポートに努めている	自己 指導者								
		家族支援	57	家族の関係性に配慮し関わることができる	利用者、家族の想いを聴き、家族背景からそれぞれの立場を理解しアドバイス方法がわかる	自己 指導者							
	58		利用者、家族が分かるような手順書を作成し、自立を促す関わりをしている	潜在能力・残存機能を活かせる計画を立案し、セルフケア能力を高める関わりをしている	自己 指導者								
	59		セルフケア能力を引き出し支援することができる	利用者・家族の想いを表出できるよう、関係性の構築、雰囲気作り、話を聴くタイミングなど配慮できる	自己 指導者								
	60		利用者・家族の持てる力を認め、労いの声かけなど配慮ができる	利用者だけでなく家族もケアの対象として関わることができる	自己 指導者								
	61		家族関係の調整を行う関わりをしている	家族間のコミュニケーションを促し、家族間の相互理解・意思決定・役割分担がスムーズに行えるように仲介的な関わりをしている	自己 指導者								
62	電話連絡など相手が見えない状況での対処方法について家族の介護力に応じた対応ができる		電話での見えない環境下で問診や情報収集をしながら現場の状況を把握できるように努め相手を落ち着かせながら対応できるように誘導している	自己 指導者									

大項目	中項目	小項目	評価内容 (自己評価・他者評価)	補足	評価基準	0：未経験 1：指導者と共にできる 2：見守りでできる 3：一人でできる									
						評価月 評価者	6 か 月	12 か 月							
2. 在宅における看護過程の展開	医療的ケア	63	医療的ケアの必要性の有無を判断できる	予期せぬ医療介入が必要な場合には必ず指示を仰ぐことができる	自己 指導者										
		64	医療的ケアを行う場所、時間設定時は、個人の時間や空間を配慮している	処置を行う場所、時間など利用者や家族に同意をとっている	自己 指導者										
		65	医療的ケアについては、医師の指示のもと安全・安楽に処置が行える	医療的ケアの手順や手技などを安全・安楽に心がけて対応できる	自己 指導者										
		66		利用者・家族の実施方法を考慮し、継続できる方法でケアを実施することができる	自己 指導者										
		67	高度な知識と技術（人工呼吸器や腹膜透析、終末期など）を身につけることができる	ステップアップしながら実践できる看護技術を計画的に増やすことができる	自己 指導者										
		68	専門家に意見を求め医療的ケアの方法について個別性に応じた工夫をしている	専門家とは認定看護師、専門看護師、医療機器業者などを指す	自己 指導者										
		3. チーム医療の実践	多職種協働・連携	69	利用者の緊急時には医師に連絡し、指示を得て対処できる	利用者に対する医療的ケアについて相談できるよう医師との関係性の構築に努めている	自己 指導者								
				70	エンドオブライフケア（老衰などの終末期も含む）の実施を他の職員と協働し対応できる	老いや病気による人生の終焉に提供されるべき医療・看護・介護について多職種と協働して実践できる	自己 指導者								
71	医師やケアマネなど多職種との連携を密にとることができる			関係機関へ情報提供を速やかに依頼し連携を図ることができる	自己 指導者										
72	利用者に関係する他サービスと必要な情報交換を行っている			報告内容・方法について、自己判断で行うのではなく指導者に相談できる	自己 指導者										
73	利用者に関係する他サービスの担当者・看護職員と、円滑なコミュニケーションをとりチームで関わり支援している			多職種連携の必要性も理解した上でタイムリーに報告し、報告の内容・方法も適切にできる	自己 指導者										
74	関係する他のサービス担当者へ、必要なタイミングと方法で連絡を取ることができる			報告時、指示的でなく相手の立場を尊重し、良好な関係を築くように意識している	自己 指導者										
75	報告書やFAXの文章が他者にわかりやすく記入し配信できる			報告を受ける側の立場に立った、簡潔・明瞭な書類作成や電話連絡ができている。報告内容は簡潔に分かりやすく用件が伝えられ、それらを記録に残している	自己 指導者										
76	サービス担当者会議に出席し現状を報告・意見や必要な情報を伝えることができる			利用者主体を観点に、医療面でのアセスメントを行い、多職種に情報提供・サービス体制の質の向上に繋がるような関わりができる	自己 指導者										
77	チーム内で利用者、家族の価値観を共有し、「その人らしさ」を大切にケアを提供できる			利用者に対するケアについて、カンファレンスを開催し職員間で共有している	自己 指導者										

大項目	中項目	小項目	評価内容 (自己評価・他者評価)	補足	評価基準	0：未経験 1：指導者と共にできる 2：見守りでできる 3：一人のできる					
						評価月 評価者	6 か 月	12 か 月			
3. チーム医療の実践	多職種協働・連携	78	個別性を尊重した教育計画を立て、計画を共有している	多職種に対しても利用者や家族の生活歴や価値観・想いを尊重し、個別性に応じてケアを共有できる	自己 指導者						
		79	退院支援にも関わり、スムーズな在宅生活を再開できるように支援をしている	入院時から病棟看護師と連携しスムーズに在宅移行できるように協働している	自己 指導者						
4. 医療安全・感染予防の実践	リスク対策	80	在宅で使用されている医療機器が正しく作動し、利用・管理されているかチェックしている	医療機器を取り扱う場合、事前のチェックを忘れずにしている	自己 指導者						
		81	日頃のケアの中から緊急時におけるリスクと予防について利用者、家族に説明できる	利用者・家族が安全に医療的ケアを行えるよう、必要時手順書などを作成し、個別性に合った方法・内容・表現で指導することができる	自己 指導者						
		82	緊急場面に遭遇した時に、他職員に報告し指示を受け対処できる	緊急事態発生時の対応方法、連絡方法を知っており、説明できる	自己 指導者						
		83	緊急対応後、その後の経過観察を自己で確認でき、上司に報告できる	訪問時に予測されることやリスクに対するの対策が述べられる。ケアを行い、そのケアについての根拠や注意点について上司に報告できる	自己 指導者						
		84	利用者、家族に対し起こり得る緊急事態を予測し、あらかじめ対応方法を指導できる	利用者の緊急状態を予測して、利用者宅における緊急時の物品の配置場所等を知っている。(呼吸器使用であればアンビューバックの置場等)	自己 指導者						
		85	病院（施設）と在宅との違いを理解し、起こりうる事故を想定することができる	在宅での事故は生命のみならず、生活そのものに関わるという視点を持ち、日頃から注意深く業務が行える	自己 指導者						
		86	常日頃からリスクに対する意識を持ち、ヒヤリハット報告書を自主的に提出する	利用者だけでなく自分自身のリスクも予測し、ヒヤリハット報告書を提出する重要性を理解している	自己 指導者						
		87	安全対策についてマニュアルを理解し対応策が言える	安全対策マニュアルの存在や保管場所を知っており、マニュアルに応じた行動ができる	自己 指導者						
		88	事故を起こした場合には報告・連絡・相談ができ報告書の記載を行っている	報告・連絡・相談はもちろんのこと、同じような事故を繰り返さないよう、事故などの報告書は必ず職員全員が回覧し、対策を講じている	自己 指導者						
89	ヒヤリハットなど個人に関する各種記録類が記載できる	ヒヤリハット・不適合など、危機管理意識をもってタイムリーに記入でき、職員間で共有・改善点の対策がとれている	自己 指導者								

大項目	中項目	小項目	評価内容 (自己評価・他者評価)	補足	評価基準	0：未経験 1：指導者と共にできる 2：見守りでできる 3：一人のできる					
						評価月 評価者	6 か 月	12 か 月			
4. 医療安全・感染予防の実践	リスク対策	90	事故や緊急時・災害発生時等に指示を受けて、迅速に行動している	災害訓練（防災の日）の緊急連絡網が円滑に活用されており、緊急事態のときは指示を得ながら看護師としての役割が遂行できる	自己 指導者						
		91	スタンダードプリコーション（標準予防策）を実施している	感染管理の意識を持ち、利用者及び自分自身を感染から守るために、職員全員がスタンダードプリコーション（標準予防策）を理解している	自己 指導者						
		92	個人防護具の選択・使用方法について理解し対応している	空気感染、飛沫感染、接触感染など、感染経路に応じて適切な個人防護具の選択・使用・処理ができる	自己 指導者						
		93	感染経路に応じた感染対策を実施している	必要時、医師や感染管理認定看護師と連携し、正しい感染予防策が実践できる	自己 指導者						
		94	利用者、家族、関わる各サービス担当者に対し感染症予防策を説明している	家族や多職種へ感染症が流行しているときには啓発活動ができ、感染予防策の伝達・指導が行える	自己 指導者						
		95	在宅医療廃棄物の処理・取り扱いを理解し、処理している	各自治体に応じた医療廃棄のルールを知り対応している	自己 指導者						
5. 専門性を高める能力	自己研鑽	96	専門職としてのキャリア発達のために意欲を持っている	看護師として常に新しい情報・知識を得ようとする意欲を持って業務にあたっている	自己 指導者						
		97	指導や面談から自己の苦手分野や不足部分が見える	自己を振り返り・分析をする時間を持つことで、課題を抽出でき、自身の苦手な分野とも向き合うことができる	自己 指導者						
		98	研修報告書を期限内に適切な内容で記載している	研修参加後に学びや気づきが簡潔明瞭に記載できる	自己 指導者						
		99	自己の課題を明らかにして学習目標の計画ができる	抽出した課題に対するの取り組みができ、研修計画を立案し、自主的に行動できる	自己 指導者						
		100	年間個別研修計画の達成に向けて実施できる	研修目標・計画が具体的に立案され、個別研修計画を予定通り参加できる	自己 指導者						
		101	特別管理加算に係わる医療的ケア技術の習得に努め実施している	不得手な医療技術については自ら上司に相談し、同行訪問や勉強会に参加するなど自己研鑽に励み、新たな医療手技など手順や操作などの場合には必ず練習してから実践できる	自己 指導者						
		102	感染管理に関連した研修や勉強会に参加している	自身が感染媒体にならないよう自己管理を意識している	自己 指導者						
103	有資格者であることを自覚し日頃から自己管理に努めている	健康管理は専門職として基本であるという意識で日頃から過ごしている	自己 指導者								

大項目	中項目	小項目	評価内容 (自己評価・他者評価)	補足	評価基準	0：未経験 1：指導者と共にできる 2：見守りでできる 3：一人でできる												
						評価月 評価者	6 か 月	12 か 月										
6. 法令遵守と看護師としての倫理観	個人情報保護・倫理的配慮	104	守秘義務が遵守できる	事務所内外で業務に関わる内容以外の利用者の情報のみならず、職員の個人情報について漏洩しないように配慮した姿勢がとれる	自己 指導者													
		105	個人情報の取り扱いに注意し、常に整理整頓ができる	マニュアルに基づいた管理を行っている	自己 指導者													
		106	個人情報保護法について説明できる	事業所に掲示されている個人情報保護指針の取り組みを説明できる	自己 指導者													
		107	カルテ（モバイル・パソコン）の個人情報取り扱いに注意できる	モバイル・パソコンのセキュリティに注意している、外出時に机上のメモやカルテなどを片付けている	自己 指導者													
		108	身体拘束の種類や状況を説明でき回避する策を講じられる	マニュアルに記載されている内容を理解している	自己 指導者													
		109	利用者・家族の権利をまもり、一人の人として尊重できる	利用者・家族の権利（①人間としての尊厳が尊重される権利②知る権利③自己決定できる権利④プライバシーが保護される権利）を尊重し誠実に対応するよう努力している	自己 指導者													
		110	成年後見人制度について説明できる	認知症や障がいがあり自己判断することが困難な利用者に制度が活用ができる事を知っている	自己 指導者													
		111	プライバシー・羞恥心に配慮したかかわりをしている	羞恥心に配慮した看護の具体例を説明できる。ケアの中で必要な露出を避けるなど羞恥心に配慮したことばかけや関わりができる	自己 指導者													
		112	介護保険について説明できる	介護保険の基本単位（算定基準時間）について言える。居宅サービス計画書1.2.3表について説明できる	自己 指導者													
		113	医療保険と介護保険の関連や大まかな仕組みが自分の言葉で説明できる	訪問看護提供に関して医療保険が優先になる疾患や状態がわかる	自己 指導者													
	114	報告書・計画書・医師の指示書の訪問看護制度上の取り扱いが言える	利用者の同意、サイン、医師への提出期限や指示書の有効期間など説明できる	自己 指導者														
	115	医療保険・介護保険それぞれの加算の種類が言える	医療保険、介護保険の加算算定についてはそれぞれに若干の違いがあり、その違いと仕組みについて自分なりの言葉で言える	自己 指導者														
	116	医療保険の基本算定の仕組みが言える	医療保険の算定の仕組みについては、基本療養費、管理療養費に分かれていることの説明ができる	自己 指導者														
	117	生活保護法に関連した介護券・医療券など必要な手続きがわかる	用紙の取り扱いや、書類の有効期間などの管理方法がわかる	自己 指導者														

大項目	中項目	小項目	評価内容 (自己評価・他者評価)	補足	評価基準	0：未経験 1：指導者と共にできる 2：見守りでできる 3：一人でできる												
						評価月 評価者	6 か 月	12 か 月										
6. 法令遵守と看護師としての倫理観	業務的法的根拠と制度の理解	118	看護計画は、本人及び家族の意向や基本情報からのアセスメント、ケアプランとの整合性の必要性があることを理解している	利用者の思いや利用者、家族の意思、選択がきちんと反映できるように統制がとれていることが確認できる	自己 指導者													
		119	担当者会議録、カンファレンス記録、退院時共同指導加算の記録ができる	担当者会議やカンファレンスの決定事項が簡潔に、且つ分かりやすく記入されている。退院時共同管理加算の記録は利用者・家族が理解できる内容である	自己 指導者													
		120	利用者に関係するサービスの種類・役割を知っている	在宅生活を支援している各種介護保険サービスの種類、役割が言える	自己 指導者													
		121	提供表等から利用者スケジュールの確認をし、利用者の訪問予定を確認できる	訪問看護の役割や他サービス関連や利用者の週間スケジュールがわかる	自己 指導者													
	7. 在宅における看護管理	看護計画管理	122	医療保険の心身の状況などのレセプト用紙に記載しなければならない項目が理解できる	医療保険に関する行政報告用の書類の種類やレセプトに必要な情報提供を記入できる	自己 指導者												
			123	利用者に係る料金についての金額が計算できる	その他の法制度について理解していなければ新規対応が難しいため、それらについて利用者、家族に対して説明ができる（参考書等を用いても可）	自己 指導者												
			124	障がい者総合支援法における自立支援医療について（厚生医療・精神医療・育成医療）の上限管理ができる	上限管理票の記載、取り扱いを行っている	自己 指導者												
			125	各種の受給者証についての更新や番号確認など利用者、家族へ説明できる	月初めや各種更新申請などの時には証書を目視で確認している	自己 指導者												
		経営管理	126	看護計画について利用者に分かりやすく説明し同意を得ている	同意が必要な書類の理解ができる	自己 指導者												
			127	自己の目標訪問件数を意識して行動できる	自己目標の訪問看護提供の達成の度合を訪問看護提供件数で確認する	自己 指導者												
			128	コスト削減を意識し、省エネ対策、時間管理対策を意識して実践している	事業所内でコスト削減（消耗品（衛生材料など、省エネ対策方法や時間管理対策））について意識して取り組む姿勢がある	自己 指導者												
			129	経営マネジメントの視点で目標管理に貢献できる	事業所全体の営業目標達成に向けて職員同士が共同して取り組む姿勢を持っている	自己 指導者												

技術チェックリスト

項目	指標	見学した	指導を受けて実施した	見守りで実施できる	単独でできる
血圧測定（アネロイド式）					
採血 + 静脈注射					
採血					
点滴準備から投与					
静脈内留置針の実施					
静脈内注射、点滴					
CVポート	CVポート留置針の刺入				
	CVポートフラッシュ				
皮下点滴注射					
輸液ポンプ					
血糖測定					
インスリン注射					
気管カニューレ	Yガーゼ交換				
	カフ圧確認				
	スピーチカニューレ交換				
人工呼吸器 設定確認	NPPV				
	人工呼吸器				
カフアシスト					
吸引	気管カニューレ内吸引				
	鼻腔吸引				
	口腔吸引				
	気管孔内				
永久気管孔ケア					
吸入	ネブライザー				
	噴霧式吸入				
ストーマ	ワンピース装着				
	排泄物処理				
	ツーピース装着				
	排泄物処理				
浣腸					
摘便					
導尿					

項目	指標	見学した	指導を受けて実施した	見守りで実施できる	単独でできる
膀胱留置 カテーテル	挿入				
	抜去				
膀胱洗浄					
胃瘻管理	ガーゼ交換				
	カフ圧確認				
	カテーテルチップによる注入				
	滴下注入				
鼻腔栄養管理	チューブ挿入				
	チューブの固定				
	カテーテルチップによる注入				
	滴下注入				
腹膜透析	チューブの固定				
	透析セットの準備				
	機器の使用				
	排液の確認				
腎瘻管理	チューブ刺入部の確認				
	チューブの固定				
	尿漏れの有無				
PTCDチューブ（経皮的経肝胆管ドレナージ）					
褥瘡処置	真皮を超えないものの処置				
	真皮を超えるものの処置				
点眼					
口腔ケア	一部介助				
	全介助				
	義歯取り扱い				
食事介助	普通食				
	ミキサー食				
	キザミ食				
	トロミ食				
足浴	全介助				
	一部介助				
全身清拭	全介助				
	一部介助				

項目	指標	見学した	指導を受けて実施した	見守りで実施できる	単独でできる
髭剃り					
手浴					
陰部洗浄					
洗髪					
入浴	全介助				
	一部介助				
爪切り					
冷罨法					
温罨法					
シーツ交換					
移乗 (ベッド～車椅子)	全介助				
	一部介助				
リハビリ	可動域訓練				
	その他				
麻薬管理	座薬				
	内服				
	貼用薬				
	点滴				
	レスキュー薬				
	持続注入ポンプ				
家族への指導 (技術項目)	例) 鼻腔吸引				

書類チェックリスト

用紙の理解から説明ができることを目標	用紙の説明を受けた	実際の説明場面を見た	助言を受けながら説明できる	利用者へ説明できる	コメント
申込用紙					
重要事項説明書					
契約書					
訪問看護指示書					
点滴指示書					
特別訪問看護指示書					
精神科訪問看護指示書					
自立支援法 自己負担上限管理法					
ターミナルケア 加算同意書					
健康保険被保険者証					
介護保険被保険者証					
自立支援法受給者証					
重度障害老人 健康管理事業制度					
特定疾患医療受給者証					
難病患者登録証明書					
福祉医療費受給者証					
労災保険					
退院時共同指導加算					
担当者会議照会用紙					

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

